

## 動物実験に関する自己点検・評価報告書

大阪医科大学

平成 26 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大阪医科大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文部科学省基本指針に則した機関内規定が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 大阪医科大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文部科学省基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

## 3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
大阪医科大学動物実験規程、動物実験計画書、動物実験経過報告書、 動物実験結果報告書、実験動物センター利用手引書「❖概要ならびに実験動物の取扱い❖」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

## 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
大阪医科大学遺伝子組換え生物等の第二種使用等に関する安全管理規程、 大阪医科大学微生物等使用実験安全管理規程、 大阪医科大学研究機構研究支援部門特定生物安全実験系細則、 特定生物安全実験系使用ルール
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <b>動物実験委員会の一部の委員が他の安全管理委員会委員を兼任し、両委員会の連携がとれるようにしている。</b>
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

## 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

大阪医科大学廃棄物取扱規程、大阪医科大学廃棄物取扱手引き、  
飼養保管施設設置承認申請一覧表、飼養保管施設設置承認申請書、  
特定生物安全実験系使用ルール、飼養保管施設設置承認基準書

## 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

各飼養保管施設に実験動物管理者が置かれているが、機関内における飼養保管施設の現状をさらに正確に把握する必要がある。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

実験動物の飼養保管施設の実態を把握するため、飼養保管施設設置の現況調査 (アンケート) を実施する。(平成 26 年 5 月に実施済み)  
飼養保管施設設置承認基準書及び、飼養保管施設ごとに実験動物の管理作業マニュアルを作成し運用する。(平成 26 年 7 月実施済み)

## 6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
大阪医科大学動物実験委員会規程、大阪医科大学研究機構年報、実験動物センター名簿
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験委員会は規定に従い、動物実験計画書の審査や教育訓練を実施している。委員会の議事録も作成・保管されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
今年度中に飼養保管施設の視察や教育訓練の実施頻度を増加させる。

## 2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
平成 25 年度動物実験計画書および経過報告・結果報告一覧
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
動物実験計画書は、動物実験が複数年にわたる場合であっても毎年動物実験経過・結果報告書が提出されており、提出率は 90%以上確保できている。継続する動物実験計画書の審査ではさらなる質疑応答が必要と考える。
4) 改善の方針、達成予定時期
審査・承認の基準をより明確にした動物実験計画書の審査要領を新たに作成する予定である。動物実験計画書の審査については現稟議審査方法を見直し、疑義が生じた場合は適宜会議審査を開催する。動物実験経過・結果報告書の提出を徹底するため、未提出の動物実験責任者宛に文書

通知し、教授会を通じ必要な措置も講じる。

### 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

#### 1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

#### 2) 自己点検の対象とした資料

動物を使った遺伝子組換え実験の一覧表、特定生物安全実験系使用ルール、  
実験動物飼養保管マニュアル、実験動物の管理作業マニュアル  
大阪医科大学研究機構年報

#### 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

事故等はなく、環境保全・動物実験等を行なう教職員・学生等の安全確保を更に強化するため、  
具体的な動物実験施設における負傷、疾病への対応、災害対策のマニュアル化を検討中である。  
また、動物実験委員会の一部の委員が安全管理委員会委員を兼任している。

#### 4) 改善の方針、達成予定時期

動物実験施設等における負傷、疫病への対応、動物実験施設における災害対策マニュアルを作成  
し、運用する予定である。(平成 26 年 7 月に実施済み)

### 4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

#### 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検の対象とした資料

実験動物飼養保管マニュアル、実験動物の管理作業マニュアル、動物実験飼養管理業務日誌

#### 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

実験動物管理者の活動は適切であり、かつ飼養保管は実験動物飼養保管マニュアル等により適正  
に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期  
該当せず。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

##### 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検の対象とした資料

飼養保管施設設置承認基準書、大阪医科大学動物実験規程

##### 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

施設の老朽化により、飼育環境改善の余地のある飼養保管施設が存在するが、いずれの施設も清潔な環境が維持管理されており、逸走防止対策も適正なものである。

##### 4) 改善の方針、達成予定時期

抜本的な飼養保管施設環境の改善が必要と思われるため、今年度内に改善計画を立てる予定である。

#### 6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

##### 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検の対象とした資料

実験動物センター利用手引書「❖概要ならびに実験動物の取扱い❖」、講習会出席者記録

##### 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

文部科学省基本指針および実験動物飼養保管基準に則した教育訓練を年 1 回実施し、参加出来なかった研究者には個別に対応する。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

大学院統合講義において年 1 回（4 月）に開催している教育訓練を 9 月にも開催し、年 2 回実施する。今後、DVD による利用者講習会も適宜開催し、教育訓練を充実させる。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

## 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

大阪医科大学研究機構年報、LAC NEWS

## 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

基本指針以前から年報を発行しており、その中で機関内の実験動物及び動物実験の状況を取りまとめてきた。点検評価項目に不足があったが、平成 25 年度分の自己点検評価では達成できた。年報での公開が中心であり、一部の項目がホームページ上では公開されていない。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

自己点検評価の時期が定まっていなかったため、定期的に点検評価を行う。また、ホームページ上での公開を一層進める。

## 8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）